

マラウイにおけるカーボンクレジット創出プロジェクトの ゴールドスタンダード認証取得について

2025年10月29日
関西電力株式会社

当社がフューチャーズ株式会社（以下、フューチャーズ）と共同で実施するマラウイ共和国におけるカーボンクレジット創出プロジェクト（以下、本プロジェクト）が、国際的な認証機関であるゴールドスタンダード^{※1}の認証を取得しました。

本プロジェクトでは、フューチャーズを通じて、マラウイの一般家庭に約7万台の改良型調理用ストーブ（クックストーブ）を無償配布します。これにより、調理時の薪使用量を約50%削減し、今後10年間で約75万tの高品質かつ信頼性の高いカーボンクレジットを創出します。

また、温室効果ガスの削減に加え、調理時に発生する有害ガスの低減による健康改善、薪採取負担の軽減による教育・就労機会の拡大、現地での雇用創出といったコベネフィットの実現も期待されます。当社は本プロジェクトにおいて、資金拠出、プロジェクト管理、カーボンクレジットの販売・マーケティングを担っています。

なお、本プロジェクトは、パリ協定で定められた国際移転のルールに沿ってカーボンクレジットを利用できるよう、マラウイ政府から相当調整^{※2}を行う旨の承認文書を取得済みです。今後は、国際民間航空機関（ICAO）が定めるCORSIA^{※3}適格基準に準拠する形で、プロジェクトの実施およびカーボンクレジットの発行手続きを進めてまいります。

当社は、今後も高品質で信頼性の高いカーボンクレジットの創出・普及を推進し、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※1：スイス・ジュネーブに本部を置く国際非営利財団（Gold Standard Foundation）が運営する、気候変動および持続可能な開発に関するプロジェクトを対象としたカーボンクレジット認証制度。

※2：パリ協定第6条に基づく、国際的に取引されるカーボンクレジットの二重計上を防止するための調整手続き。クレジットを他国に移転する国（排出削減が生じた国）は、その分を自国の削減実績から差し引き、クレジットを取得した国はその分を自国の目標達成に反映させる計で、各国の温室効果ガス削減量の整合を確保する。

※3：Carbon Offsetting and Reduction Scheme for International Aviation. 国際民間航空機関（ICAO）が導入した国際航空分野の温室効果ガス排出削減制度。

以 上

別紙：本プロジェクトの概要等

【本プロジェクトの概要】

実施地域：マラウイ共和国

プロジェクト期間：10年間

初回クレジット発行予定時期：2026年5月頃

クックストーブ配布予定台数：約70,000台

役割：

	関西電力	フューチャーズ
プロジェクト資金の拠出	○	
プロジェクト管理	○	
クレジットの販売・マーケティング	○	○
プロジェクト計画立案		○
現地オペレーション		○
カーボンクレジット発行手続き		○

【プロジェクト写真】

プロジェクト実施前 (従来の調理方法)	プロジェクト実施後 (配布するクックストーブ)
	

【各社の概要】

名称	関西電力株式会社
本社所在地	大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号
代表者	取締役 代表執行役社長 森 望
主な事業内容	電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業 等
設立	1951年

名称	フューチャーズ株式会社
本社所在地	東京都三鷹市下連雀3丁目27番1号三協ビル3階
代表者	山崎 遥
主な事業内容	カーボンクレジット創出事業、カーボンアドバイザー
設立	2019年

以 上

